



科学技術政策特論 関連講演会のお知らせ

※講義ではありません。
履修生以外、他学部、教員の方の聴講も歓迎します。

日時 7月22日(月) 17:00 - 18:00

場所 工学研究院アカデミックラウンジ3
(工学部B 3棟2階)

グローバル化の中での 我が国・科学技術政策のポジショニング

国際原子力機関 (IAEA) 保障措置局実施C部長
室谷 展寛 氏

講演趣旨

グローバル化が進行した今日、一国の科学技術政策・施策の展開は、好むと好まざるとに関わらず国際舞台の審判を仰ぐことになるため、科学技術政策関係者はグローバル規模での説明責任を持つ。科学技術政策立案は、日本の科学技術を、グローバルコンテキストの中に如何にポジショニングするかを戦略的に検討し、科学技術が日本の将来と発展を先導するような舞台設定をしなくてはならない。立ち位置を誤ると、日本の科学技術の競争力は早晚失われ、日本は静かに世界の表舞台から消えていくことになりかねない。過去25年のうち、約半分を日本大使館、OECD、IAEAといった国際機関での勤務を経験した室谷氏に、国内外から観察した我が国科学技術の位置づけの変化と将来の展望について語っていただく。

室谷 展寛 氏の自己紹介

1963年 札幌に生まれ、札幌北高校を経て東京工業大学工学部機械物理学科を卒業しました。1988年に科学技術庁に入庁し、宇宙国際課、経済協力開発機構(OECD)、科学技術政策局計画課、外務省在フランス日本大使館一等書記官、文部科学省保障措置室長などを経て2009年8月より現職。原子力が平和利用のためだけに使われる日が将来訪れる日を祈りつつ、担当する49カ国との協議や交渉を行っております。

